

電子乗車券や電子マネーとして使われ、端末機にかざしただけで情報の読み取りができる「非接触型ICカード」の普及とともに、複数のICカードを重ねて利用することで、改札機が電子乗車券の読み取りができないなど、トラブルも目立ち始めた。こうした読み取りエラーを防止するフィルタを神戸市のベンチャー企業が開発した。個人が複数のICカードを持つ時代の必需品となりそうだ。

## ICカード 重ねてOK

### 改札機エラーに防止フィルター

非接触ICカードは、J「枚数超過」と読み取りエラーを起すケースも増え「コカ」や私鉄系の「ピタパ」、電子マネーの「エディ」、企業の認識証などに採用され、急速に普及が進み、昨年の推定発行枚数は約一億五千万枚にのぼっている。

しかし、二枚以上のカードを重ねた場合、端末機が「枚数超過」と読み取りエラーを起すケースも増え始めている。

インターネットコンサルティンクなどを展開するベンチャー企業「フロムウエスト」（岸本稔社長）では、二年前から、非接触型ICカードの普及を見越して、読み取りエラーを防ぐためのフィルターの開発に着手していた。

フィルターはカード型で、磁気を吸収する磁性材と磁気を遮断する「導電性シート」をバランスよく組み合わせることで、端末機が出す読み取り用の磁気をコントロールする。

例えば、一つのバスカードに、乗車券のカードと電子マネーのカードを入れた

### 神戸のベンチャー開発

場合、間にフィルターを挟んでおくだけで、読み取りエラーを防ぐことができる。

大手企業からの問い合わせもあり、フィルターは三月中旬から発売する予定で、価格は二千円程度にするという。

フィルターは、金融系の非接触型のキャッシュカードなどのスキミングを遮断する効果も発揮できる。